

Crossroads



《私立・専修学校推薦受験者へ》

推薦入試が終わり、結果を待つのみとなりました。可否通知が届いたら何をすべきでしょうか？「合格」という良い知らせならば、真っ先にお家の方へ感謝の気持ちを伝えてほしいと思います。受験料を振り込んでくれたり、健康管理に気を配ってくれたりしたことでしょう。

一方で残念な結果だった場合は、感謝の気持ちを伝えた後、次の目標に向けてすぐに気持ちを切り替えなくてははいけません。悔しさをばねにして次の試験に臨むことが大切です。

また、いずれの結果にせよ、登校したら担任への報告を怠らないようにしてください。出願書類の準備や面接練習など、合格通知が届くことを願ってバックアップしているのです。自分一人の力で受験・合格できたわけではないということを忘れないようにしましょう。

《私立・専修学校の出願の様子を見て・・・》

事前指導を通して、身だしなみ・カバン・靴の色など、出願時に気を付けることを伝えてきました。その甲斐もあり、一人ひとりが意識をして出願に行くことができ、嬉しく思いました。大きなトラブルや出願書類の不備等もなく、遠方の学校以外は予定していた時間までに戻ってくることもできました。この調子で私立専修一般入試・公立出願・公立入試へとつなげていきたいですね。



《志望順位の決定に向けて》

教育相談の中で、私立・専修・公立全てを含めての志望順位を決めています。私立高校が合格した場合、公立推薦で受検したが不合格になってしまった場合など、いくつかのケースを想定して考えていく必要があります。お家の方や担任ともじっくりと話し合ってください。少し気になったことを以下に記します。

- ・最悪のケース（例えば、私立が1校も合格しなかった場合）を考えずに、公立の志望校を選んでいる。 → 公立高校も合格できなかった場合は？
- ・これまでの教育相談等の中で話題に上らなかった公立高校（体験入学にも行っていない遠方の高校）に変更しようとしている。 → その学校に変更した根拠は？
- ・仲の良い友達が受検する学校を一緒に受検しようとしている。
→ その学校に見合った学力があるのか？